練馬区立大泉学園中学校

平成２８年度・生徒の学力に関する調査についての結果と分析

１．平成２８年度
「全国学力・学習状況調査」（第３学年対象）結果（正答率）　４／１９（火）

	Ａ　主として知識			Ｂ　主として活用		
	学園中	東京都	全国	学園中	東京都	全国
国語	８０．４％	７６．９％	７５．６％	７３．３％	６８．６％	６６．５％
数学	６２．３％	６３．５％	６２．２％	４７．９％	４５．６％	４４．１％

２．平成２８年度
「練馬区立中学校学力調査」（第３学年対象）結果（正答率）　６／１（水）

	学園中	練馬区	全国
社会	４７．３％	５０．８％	５５．２％
理科	４６．４％	４７．８％	５３．８％
英語	７１．０％	６６．０％	６１．８％

３．平成２８年度・各学力調査についての分析

	教科名	分析（身についている力・課題等）	改善策・取り組み
３年 全国	国語	「知識・活用の力」はともに身についているものが多いが、文脈に即した語句の意味のとらえかた、また漢字の書き取りの力に課題が残る。	辞書を積極的に活用し、意味を意識した漢字学習を行う。ひとつの単語から使用別例、対義語・類義語を考えさせ、語彙能力を向上させる。教科書以外の文章を読み、実際の語句、漢字の使われ方を学ばせる。
	数学	基本的な知識の活用力は、比較的身についている。その中で、計算での符号扱い方、関数のグラフ、空間での直線に位置関係や柱体・錐体の理解が不十分である。	間違えやすい計算を紹介し、注意深く取り組ませる。関数の単元で、グラフの特徴を整理する。三平方の定理の単元で、空間図形を復習させる。
３年 練馬区	理科	自然事象への関心が高く、授業にも前向きに取り組むことができている。観察実験に関するデータ処理や分析などに課題がある。	観察実験ごとに手書きのレポート作成を行い、添削して個に応じた指導を行う。視聴覚教材を活用して理解を深め、身近な科学や日常生活と関連付けながら、活用する力を育成していく。
	社会	理解したことを元にして、世界地図から日本の位置を読み取ったり、地形図から高度を読み取ったりすることには課題がある。歴史的分野の近世の日本や近代の日本と世界については、比較的よく理解している。	日本の位置を世界地図の上で大観させるとともに、世界の諸地域を学習しながら常に日本との位置関係を把握させて学習する。また、身近な地域の調査では、方位・縮尺・等高線・地図記号を理解させた上で、地形図の読み取りに時間をかける。
	英語	授業中の会話の活動や文法練習に意欲をもって取り組んでいる。決まった文法事項、指定した語句を使う力はついているが、学んだことを生かして自己表現をしたり、聞いたり読んだりする力が不足している。	学んだことを実際の会話の中で使う場面を多く設定し、語彙力を実践的なものにしていく工夫をする。理解したことを繰り返し練習していくことで表現できることを増やしていくよう指導を続けていく。